



 **内外トランスライン株式会社**
International Freight Forwarder

IR REPORT

**第45期
第2四半期株主通信**

2024年1月1日～2024年6月30日

証券コード：9384

グループ一体となって 事業環境の変化に適切に対応することで ステークホルダーの期待に応える成長を実現します

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループは第5次中期経営計画（2023年度～2027年度）に基づき、
真の国際総合フレイトフォワードラーとして、さらなる企業価値の向上に挑みます。

2024年度上半期の市場動向

わが国経済は、雇用・所得環境が改善し、景気の持直しの動きが見られる一方、円安等の影響による物価上昇が続いており、金融資本市場の変動等による景気の下振れリスクには留意が必要な状況です。海上輸送の現状につきましては、紅海情勢の悪化に端を発した世界の主要な港湾における混雑や中国発の貨物輸送の増加によって需給が逼迫し、海上運賃は上昇傾向にあります。

当中間期(第2四半期)の業績

単体の輸出入につきましては、輸出混載貨物の取扱が4月以降回復基調にあるものの、3月までが前年を下回ったため減収減益となりました。国内子会社におきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、主力とする航空輸送が好調を維持したことで、売上高、売上総利益は前年比で増加しましたが、業務の拡大に伴う販管費の増加から、営業利益は減少しました。フライングフィッシュ株式会社は、新システムの導入や営業努力が大口新規案件の獲得を含む取引の拡大に繋がり増収増益となりました。

海外子会社では日本発着以外のサービスも強化しております。当中間期におきましては、倉庫事業が堅調なインド及び、昨年物流倉庫の取得によって増床した内外釜山物流センター株式会社を中心とする韓国等が売上を伸ばし増収増益となりました。

この結果、当中間期における売上高は17,214百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は1,924百万円(同15.3%減)、経常利益は2,182百万円(同10.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,474百万円(同10.5%減)と前年比において増収減益となりました。

代表取締役社長 小嶋 佳宏



トピックス

株主様からの質問にお答えします

Q1 女性活用や人材育成の現状について教えてください

A1

当社には2名の女性取締役がおり、2023年度の管理職に占める女性比率は20.9%となっています。当社では特に男女の比率について目標設定をしてきたわけではありませんが、男女分け隔てなく有能な人材を登用した結果、女性の比率が高くなっています。

人材育成については中期経営計画の「投資戦略」として掲げています。国内外を問わず、社員能力向上のために教育研修を行っています。また新規卒業者や、プロ人材を積極的に採用し、全体最適を考慮したグループの組織編成と人員配置を行っています。

さらに将来の幹部候補生として、グループ会社や海外での勤務を経験し、グループ内での人事交流を盛んにすることで、組織の活性化に努めています。

Q2 株主還元の取組み姿勢を教えてください

A2

当社は株主の皆様へ安定した配当を実施することを剰余金処分の基本方針としています。上場以来着実に配当金を増加させており、これまで減配したことはありません。

今後の株主還元については当社の業績推移、市場の情勢などの諸指標に目を配りながら業績に応じた株主還元と安定配当のバランスを取りつつ決定していく予定です。

Q3 成長戦略について教えてください

A3

当社のビジネスモデルは経常運転資金や設備資金の需要がほとんど発生しないことにより有利子負債がありません。2024年6月末時点では現預金を155億円保有しています。

これは株主様への配当、運転資金への充当はいうまでもありませんが、今後も新規事業、M&Aを実施しながら業績拡大に取り組んでまいります。

まずは基本方針として本業である混載事業に引続き力を入れながら、フォーワーディング事業の拡大を目指します。またM&Aや人材教育、DX、そしてアセット事業等を柱に掲げています。アセット事業の拡大としては、2023年5月に韓国釜山において物流倉庫を取得しています。

連結財務指標

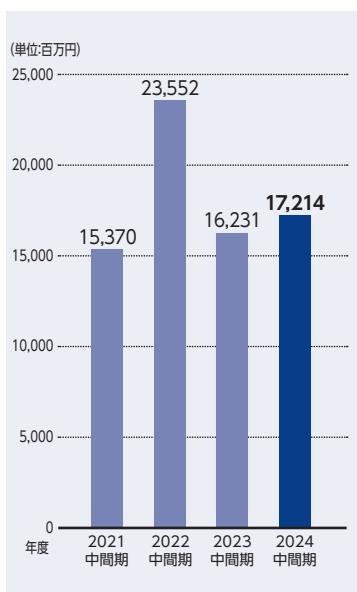
● 当中間期の業績 (2024年1月～6月)

売上高

17,214百万円

前年同期比

6.1%増



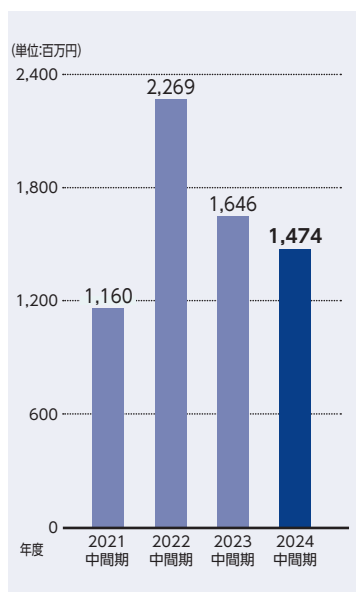
連結実績については一部の子会社において業績が好調であったことに加え、円安も寄与した結果、当中間期における売上高は17,214百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益

1,474百万円

前年同期比

10.5%減



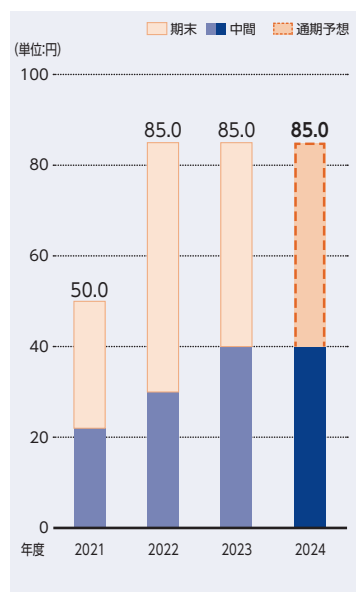
利益については、粗利率の高い単体の輸出混載貨物の減少と、中期経営計画の成長戦略として積極的に行った人材投資による販管費の増加を増収でカバーすることができず、当中間期における営業利益は1,924百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益は2,182百万円（同10.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,474百万円（同10.5%減）となりました。

1株当たり配当金

40.0円

前年同期比

増減なし



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当中間期の配当金は増減なしの40.0円とし、通年では計85.0円とする予定です。

● キャッシュ・フロー指標

(単位：百万円)

	2021年度 中間期	2022年度 中間期	2023年度 中間期	2024年度 中間期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,190	2,349	1,411	1,607
投資活動による キャッシュ・フロー	△412	△28	△1,978	△308
財務活動による キャッシュ・フロー	△264	△339	△695	△520
現金及び現金同等物の 中間期末残高	7,515	11,302	13,625	15,502

● 資産関連指標

(単位：百万円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 中間期
総資産	16,752	22,133	23,362	26,597
純資産	12,700	17,510	20,381	22,537
自己資本比率 (%)	71.6	75.2	83.4	81.0

● 1株当たり指標

(単位：円)

	2021年度 中間期	2022年度 中間期	2023年度 中間期	2024年度 中間期
1株当たり中間純利益	119.25	233.00	168.97	151.10

会社概要

● 会社概要

2024年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名: NAIGAI TRANS LINE LTD.)
設立	1980年5月1日
代表取締役社長	小嶋 佳宏
従業員数	731名(連結)
資本金	243,937,240円
上場市場	東京証券取引所 プライム市場
加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会 (JIFFA) 日本貿易振興機構 (JETRO) 東京商工会議所 大阪商工会議所 横浜商工会議所 名古屋商工会議所 神戸商工会議所 福岡商工会議所 北九州商工会議所 東京通関業会 横浜通関業会

● 役員一覧

2024年6月30日現在

代表取締役社長	小嶋 佳宏
常務取締役	戸田 幸子
常務取締役	東 宏尚
取締役	岩 貞均
取締役	鈴木 真
取締役	中山 裕美子
取締役	人見 茂樹
社外取締役	中澤 圭亮
社外取締役	矢部 光識
取締役(常勤監査等委員)	長谷川 豊
社外取締役(監査等委員)	敏 森 廣光
社外取締役(監査等委員)	遊 上 利之

● 株式の状況

2024年6月30日現在

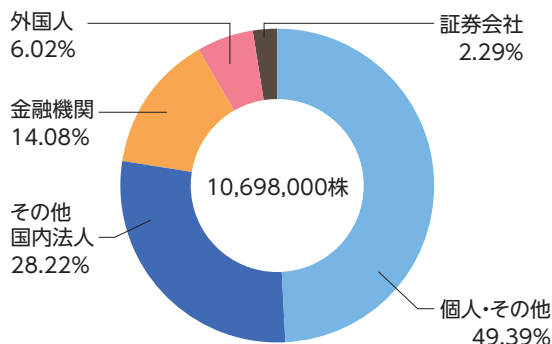
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,698,000株
(自己株式数)	869,254株
株主数	15,553名

● 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
合同会社エーエスティ	2,121	21.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	970	9.88
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	376	3.83
戸田 徹	320	3.26
内外トランスライン従業員持株会	286	2.92
株式会社とさわそば	250	2.55
日章トランス株式会社	232	2.36
トランコム株式会社	220	2.24
宇野 友子	137	1.39
伊藤忠ロジスティクス株式会社	132	1.35

(注) 当社は、自己株式869,254株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除しております。

● 所有者別分布状況



国内事業所 2024年6月30日現在

大阪本社
(大阪府中央区備後町二丁目6番8号)
サンライズビル5階

福岡営業所

東京本社
(東京都中央区日本橋三丁目8番2号)
新日本橋ビル6階

横浜支店

名古屋支店

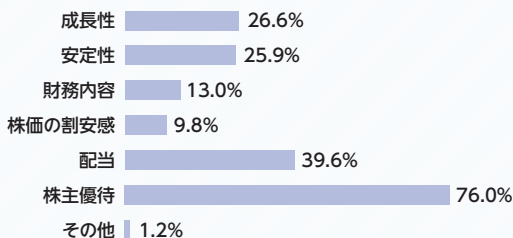
神戸支店

2024

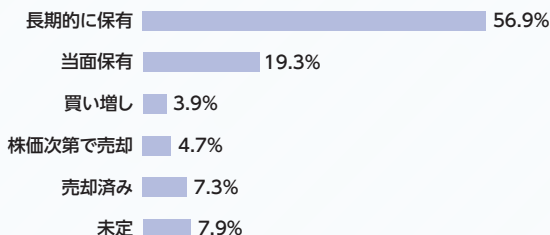
株主アンケート 結果のご報告

2023年12月期株主優待お申し込みハガキで実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の98.1%に当たる17,392名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果の一部をご報告いたします。

質問1 当社株式の購入理由(複数回答)



質問2 今後の方針



株主様の声(一部)

トップメッセージがとてもよかった。株主や社員に対する配慮がとても行き届いている。24年長期目標の順調な進捗を期待しています。

変化する世界情勢の中で機転を利かせた対応ができるのはすばらしいと思います。ますますの発展を期待しています。

企業認知度向上のため、IRのさらなる強化に期待しています。

優待品ご紹介

ご好評をいただいております株主様ご優待。
前回(2023年12月期)、特に人気の高かった商品をご紹介します。

1,500円相当分



2,500円相当分



保有株式数に応じて商品(カタログより選択)または社会貢献団体へ寄付

◆100株以上200株未満 1,500円相当 ◆200株以上4,000株未満 2,500円相当 ◆4,000株以上 5,000円相当

株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。

基準日：定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金を行う場合 6月30日

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<https://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株

上場取引所：東京証券取引所 プライム市場

証券コード：9384

お問合せ先：〒168-8507

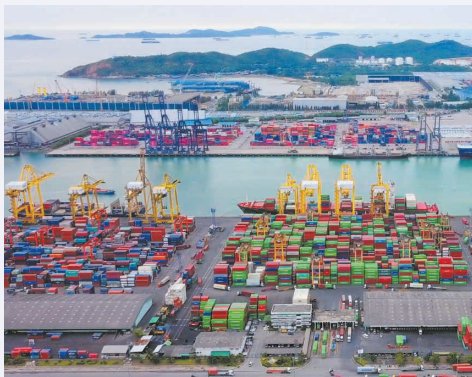
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

電子提供制度専用ダイヤル
0120-524-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

お取扱店：みずほ信託銀行
本店および全国各支店(※)
(※)トラストラウンジではお取扱いできませんので
ご了承ください。

未払配当金の支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※)
みずほ銀行 本店および全国各支店
(※)トラストラウンジではお取扱いできませんので
ご了承ください。

お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、上記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。
また、株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)につきましては、口座を開設されている証券会社またはみずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。



表紙写真：レムチャバン港

タイ最大のコンテナ港であるレムチャバン港は、バンコクの南東135キロメートルのチョンブリ県に位置しています。ASEANにおいては、製造拠点の新規地帯等を背景に著しく工業化が進展してきました。レムチャバン港はタイの物流を支える重要な玄関口として1991年に開港以来、隣接する工業団地や内陸部への自動車産業、電気機械工業等の集積と相まって、1997年にはタイ最大の港湾となり、アジアを代表する国際貿易港に発展しました。タイに寄港するコンテナ船の国際航路のほとんどが同港を利用しており、2022年のコンテナ貨物取扱量は世界20位(874万TEU)です。年々増加する貨物量に応えるため、遠隔操作ガントリークレーンや無人トラックが導入されています。近隣にはリゾート地として有名なパタヤビーチ、40年以上も建築が続けられている巨大な木造建築物であるサンクチュアリ・オブ・トゥルースがあります。

内外トランスライン株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町二丁目6番8号 サンライズビル5階
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4713

